



榛名神社由緒

当社は第三十代用明天皇丙午元年（二三〇。余
 江前）の創祀で延喜式内社である。徳川時代の
 末期に至る迄神仏習合の時代が続き、満行宮
 榛名寺などと称えて、上野寛永寺に属し、別当
 兼学頭が派遣されて山を管理していたが、明
 治初年神仏分離の改革によって榛名神社
 として独立した。

御糸神

火産靈神（鍾火開運）

埴山毘売神（五穀豊穡）

社殿は寛政四年の改築（一七〇。余年前）御糸神
 は後に立てる御衣石の洞窟中に祀られている
 神代尊（大々御神系三十六世）は二五〇年前から
 依りまつられたる国の景形文化財に指定されている